

母ちゃんの指

その鋭く折れた右手の指の間から
するりと箸が滑り落ちる

そのたびに

曲がった二本の指を叱りつけるように

懸命に開こうとする

「この指がなあ。この指が動かへんから箸が

うまいこと握れへん」

幼児がするように

ぎこちなく箸を拾い上げては

指の間に挟み込むようにして握り直し

一本の棒のように操って

ご飯を口に運ぶ

そのたびに

飯粒はばらばらと畳の上に落ち

三本の指が拾いに動く

折れ曲がった指を

働き者の勲章だなどと気休めを言うまい
体の一つ一つが

次第に思うに任せぬ恨めしさを

言葉で慰めることなど

日々の暮らしを闘うあなたには

苦痛でしかない

医者は

年だから仕方がない、と言う

もう伸びることのない二本の指は

折れ曲がったまま

今日も

肩身の狭い心地で

三本の指に身を委ね

叱られ続けている